

企業でのインフルエンザ対策

～アオイ電子株式会社様～

■アオイ電子株式会社様のご紹介

アオイ電子株式会社様は香川県高松市のI C・モジュール・サーマルプリントヘッド・抵抗ネットワーク・MEMS製品・リチウムポリマー電池などの設計、製造を行うメーカーです。

香川県高松市と観音寺市の2ヶ所に工場を所有し、電子機器メーカーへの重要部品の供給を行っています。

同社は、インフルエンザにより社員が休み、製品供給の障害が発生しないように、いち早くリスク対策に取り組んでいる企業です。



■プロフィール

商号 アオイ電子株式会社
 設立 1969年（昭和44年）2月1日
 住所 香川県高松市香西南町455-1
 電話 087-882-1131
 従業員数 1,298名（2009年3月末現在）
 H P <http://www.aoi-electronics.co.jp/>

■サーモグラフィ運用の状況

同社では、新型インフルエンザ対策として手洗いの励行とアルコール消毒を行っていましたが、更なる「企業としてのリスク管理」として大西通義会長の発案により、大人数でも瞬間的に体表温度を測定可能なサーモグラフィが導入されました。

サーモグラフィの導入から約1ヶ月間で38℃以上ある発熱者が1名発見されています。



■左：総務課 中川氏/右：設備開発G 山上氏
 サーモグラフィによる新型インフルエンザ対策の運用を担当されています。



アオイ電子様のロビーに入ると先ず「インフルエンザ対策発熱検査実施中」の看板が目にとまります。

社員の皆様はサーモグラフィの前を通過して入館しますが、体表温度37.0℃を越える発熱者を検知するとサーモグラフィのアラームが鳴り、下写真のように発熱部分を赤色に強調した表示を投影します。



発熱者が発見された場合の映像（イメージ）



ロビーから入る人物を検温しています



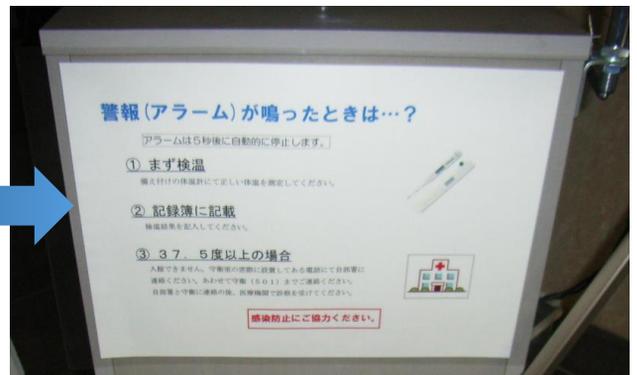
社員がサーモグラフィの前を通過

■サーモグラフィ導入後の効果！

アラームが鳴らなければそのまま入館できますが、アラームが鳴った場合は、備え付けの体温計にて精密な体温測定を行ってから入館します。

産業医の指導により体温計で37.5℃以上の場合は入館を制限し、すみやかに医療機関での診察を受けるよう促しています。

入館手順・ルールを明確にすることにより、無人でのインフルエンザに対するスクリーニングを実現しています。



アラームが鳴った場合は指示に従い検温します

■推奨機器

同様の運用をご検討される場合は、下記を推奨いたします。

- R550S <http://www.avio.co.jp/products/infrared/lineup/ir-thermo/r550/>
- R450S <http://www.avio.co.jp/products/infrared/lineup/ir-thermo/r450/>
- F50 <http://www.avio.co.jp/products/infrared/lineup/ir-thermo/f50/>



R550S



R450S



F50

日本アビオニクス株式会社

〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4475番地
TEL: 045-287-0303 FAX: 045-930-3597

<http://www.avio.co.jp/>